

土屋詮註教 じいつせんしゅけう 佛教史家。明治五年福島縣生れ、昭和二十二年九月
（二十一日歿）（一八七二—一九六六）。舊姓海野。號旭堂、極東。明治二十九年
東京專門學校文科卒。翌年京都文學院教授、その雑誌「明教新誌」を
創刊。二十一年東京朝日新聞社記者、次々ついで廣島、東京の教職。二十八
年早稻田大學講義録編輯主任、大正七年早大主専。昭和二年「御大典
日本宗教大會紀要」(十一月十一日日本宗教懇話會)、五年「佛教年
鑑」(再版・十一月五日佛教年鑑社)の編輯に當る。

著書「日本宗教史」(明治四十年五月二十八日早稻田大學出版部
「早稻田叢書」)、「明治佛教史」(東京帝大佛教青年會編、昭和十
四年十一月二十五日三省堂「青年佛教叢書」)、「大正佛教史」(東
京帝大佛教青年會編、昭和十五年十一月十五日三省堂「青年佛教叢
書」)等。

